

八王子市立松が谷児童館

事業の概要

○八王子市では10館の児童館が、児童館のない地域で出張児童館に取り組んでいて、平成23年度106回、17,423名が参加。松が谷児童館では小学校7校で年間に各校3回ずつ、チャレンジキッズ（出張児童館）を実施しています。

○各館、常勤職員3名・臨時職員1名で、自館を開館しながら同時にチャレンジキッズもおこなわれています。そのため、準備・運営は保護者（保護者の会、PTA）と連携して、保護者が主体的に活動できるように働きかけ、数年かけて保護者の活動として位置づけられました。

○保護者の会に「チャレンジキッズ担当」を設けてもらい、少しずつ活動内容を広げてきました。保護者に、小学校との調整（日程や体育館使用の調整）、お知らせの印刷・配付、工作の準備（牛乳パック等の材料集め、事前講習）、当日の運営（会場準備、子どもへの指導・対応、片づけ）をお願いしています。各会場では毎回20人前後の保護者がスタッフとして参加しています。

○保護者は毎年入れ替わるため、1学期の打ち合わせと3学期の申し送りが重要になります。保護者との打ち合わせは必要なきに小学校でおこない、事務連絡はメールを活用しています。

事業の具体的な内容

○チャレンジキッズの遊びは4コーナーに分かれて、4コーナーの遊びが同時進行します。どれから遊ぶか、どのくらい遊ぶかは子ども自身が決めます。各コーナーの進行、子どもへの対応は保護者がおこない、児童館職員は全体の進行、保護者へのサポート、安全管理を担当します。

○「ジャンボドッジボール」は体育館のラインを活用して、外野を置かないルールで、低学年と高学年が交代で遊びます。ホイッスル係は、保護者または高学年児童がおこないます。



ジャンボドッジボール

○「ラリー」は、体育館壁面に貼った約50枚のカードから指示された番号を見つけて、番号を追いながらゴールを目指します。ゴールすると遊べる景品がもらえます。



ラリー

○「工作」は作って遊べるもの、保護者が教えやすいものを選んでいきます。高学年児童が教えることもあります。



工作

○「ゲームコーナー」には、ボードゲーム、カードゲーム、パズルなどが置いてあり、自由に遊べる場所、ジャンボドッジボールの待ち時間に遊ぶ場所でもあります。手作りのボードゲームやパズルは、チャレンジキッズでしか遊べない特別な遊具です。



ゲームコーナー

事業実施のポイント

- ・保護者の会等、組織の活動として位置づけられています。
- ・実施状況、子どもたちの様子を保護者から教員（特に管理職）へ伝えてもらっています。
- ・学校ホームページ、学校だより、保護者の会だよりに載せて、すべての保護者へ伝えてもらっています。

「児童館ガイドライン」の「活動内容」ごとの事業の紹介(主なもの)

⑤ 地域の健全育成の環境づくり

チャレンジキッズ(出張児童館)は小学校の体育館で実施しています。雨天でも実施できること、子どもも保護者も参加しやすいことがメリットです。

保護者にはできることからお願いして、保護者の活動として位置づけられるようにサポートしています。たとえば、子どもたちに配付するお知らせは、初めは児童館職員が小学校へ届けていました。少しずつ保護者の協力が得られるようになり、今では児童館職員が原稿を作成して保護者の担当者へメールで送り、印刷と配付は保護者がおこなっています。印刷前に副校長に確認を取り、児童数の増減にも対応してもらっています。

スタッフとして遊びに参加する保護者とは事前に打ち合わせをしますが、初めのうちは戸惑うことが多いです。200人の子どもが体育館で遊ぶ騒がしさ、工作を数人の子どもに同時に教える難しさなど、今まで経験したことがない場面に遭遇します。そんな場面では、職員が保護者にアドバイスしたり、代わりにやって見せたりします。チャレンジキッズは保護者の大きな協力によって成り立っ

ています。

チャレンジキッズの活動を通して保護者の会が力を付け、保護者の会主催で新たな行事を始めた小学校では、児童館は共催という形で協力して、地域における児童館の役割を発揮することができました。

チャレンジキッズ 松が谷

主催:八王子市立松が谷児童館(675-0151)
共催:松木小学校まほう会

会場:松木小学校体育館
2月13日(水)雨天決行
2時40分から4時まで

<p>ゲーム</p> <p>☆あたらしいゲームであそべるよ☆</p> <p>木のおもちゃ アルバイゲーム オセロ など</p>	<p>こうさく</p> <p>フラパン</p> <p>☆じぶんだけの、てづくりのアクセサリーをつくってみよう☆</p>
<p>☆ルールはかんたん。みんなであそぶよ☆</p> <p>ジャンボドッジボール</p>	<p>ラリー</p> <p>なぜなぜラリー</p> <p>☆「たべちゃダメ!」っていわれるおなべはなに?...こんななぜなぜがいっぱいのラリーだよ☆</p>

- ★ せうしごみはいりません。
- ★ さんかひはわりようです。
- ★ おやかでさんができます。
- ★ うわばち、のみものをもちてきてね。
- ★ ちぎものは、じぶんであそびましょう。
- ★ いちどいえにかえってから、あそびに来てね。



利用者の声など

・子どもたちはチャレンジキッズを楽しみにしています。参加者は増えていて、特に低学年児童の参加者が多いです。

・保護者の会として積極的に取り組んでもらえるようになりました。

・小学校の理解、協力も得られるようになりました。

児童館のプロフィール

名称:八王子市立松が谷児童館

設置主体:八王子市

運営主体:八王子市

開設年月:平成5年4月

開設時間:月~土10:15~19:00

第4日曜日9:15~18:00

(第4を除く日曜日、祝・休日、年末年始は休館)

所在地:八王子市松が谷13番地

紹介等:

<http://www.city.hachioji.tokyo.jp/fukushi/1166/030506.html>

事業の概要

京都市梅津北児童館では、地域の方に児童館について理解を深めてもらえるよう、児童福祉以外の部局とも連携して、有料ごみ袋の配布や納涼体験など幅広い事業展開を行っています。

こうした活動がきっかけとなって児童館を利用する機会が増えた方も多く、子育て支援の中心施設としての役割が発揮できる環境整備に繋がっています。

事業の具体的な内容

（１）京都市家庭ごみ有料指定袋無償配布事業（京都市環境政策局からの委託事業）

京都市では、赤ちゃんが産まれたご家庭に、「出産お祝いレター」及び子育てに関する情報を掲載した「子育て応援パンフレット」を郵送していますが、この中に京都市家庭ごみ有料指定袋の無料引換券（30リットル袋×40枚）を同封し、このごみ袋の引換場所を「お近くの児童館又は各区役所、支所のエコまちステーション」としています。

こうした取組により、子育て家庭への児童館来館の直接的なきっかけづくりとしています。児童館にごみ袋を引換えに来られた日から児童館を利用され、その後も継続して児童館を利用される子育て親子も多くおられます。また、より児童館のことを知っていただくため、児童館の開館時間等の基本情報や活動プログラムを記載したチラシを配布しています。

（２）「夏のオアシス！クールキッズステーション」における「簡易型ミスト装置」の設置（京都市上下水道局との連携・協力事業）

市内130箇所の児童館（平成25年3月時点）では、7月上旬から9月下旬にかけて、子育て親子や高齢者の方々を対象に夏季の日中の居場所として児童館を広く開放し、地域において気軽に利用できて涼しく過ごせる憩いの場を提供するため、「夏のオアシス！クールキッズステーション」に取り組んでいます。この事業は、各家庭での電力消費の削減や猛暑の中の熱中症対策にも資する取組として実施しています。また、「涼（りょう）」を体感していただくため、涼しい空間での工作の取組、わらびもちやかき氷を食べるなど様々なプログラムを行う中、高齢者や地域の子どもたちがふれあう多世代交流も図っています。

平成24年度は、京都市上下水道局の協力により、市内15箇所の児童館に「簡易型ミスト装置」を設置し、より一層の利用促進を図りました。

事業実施のポイント

- ・児童館の利用者層である乳幼児親子が、子どもを生み育てる地域の児童館の場所を知る機会となっています。児童館にとっても地域を知るとともに、児童館活動を周知する機会となっています。（京都市家庭ごみ有料指定袋無償配布事業）
- ・地域住民が気軽に立ち寄れるよう、児童館の敷居を低くし、気軽に入れる雰囲気を出すことが重要です。（クールキッズステーション）
- ・子どもだけでなく地域住民も積極的に巻き込めるプログラムを意識することで、地域における児童館の認知度の向上にもつながります。（クールキッズステーション）

「児童館ガイドライン」の「活動内容」ごとの事業の紹介(主なもの)

② 子どもの居場所の提供

クールキッズステーションの実施期間中は気軽にご利用いただける涼しい環境のスペースを設け、子育て親子や高齢者の方々の憩いの場〈オアシス〉を提供しています。また、クールスポットとして簡易型ミストも稼働させ、その下で手作りのわらびもちやかき氷を食べるといった体験は、環境に配慮した涼の取り方を学ぶ機会となります。17時から18時30分までの時間帯を「中高生タイム」と位置付け、卓球台の設置や楽器練習の場を設けたり、1個10円～30円の価格帯のお菓子とドリンクを用意し、中高生のニーズを踏まえた空間とプログラムを提供しています。

⑤ 地域の健全育成の環境づくり

クールキッズステーションは、児童館の利用対象にある0歳から18歳未満の児童だけでなく、節電の観点も交え、子育て中の親子や高齢者の来館も視野に入れています。そのため、異世代交流や子どもの育ちに関するネットワークの中心となる効果も多いに秘めており、地域における子育ての気運を高め、そのより良い環境を育てていく核になるものだと考えています。また、京都市の児童館・学童保育所がつくる子どものためのおまつり

「京都やんちゃフェスタ」を毎年10月頃に開催しています。これは京都市と公益社団法人京都市児童館学童連盟などが主催し、数万人規模の子どもや親子連れの参加がある大きなイベントです。同フェスタへ児童館として関わることで、地域の枠にとどまるだけでなく、市内の他の児童館や子どもたちとの交流を図ることができます。

⑦ 放課後児童クラブの実施

京都市では一元化児童館として、児童館内で放課後児童クラブを実施しています。

クールキッズステーションでは、児童館に来館する子どもと放課後児童クラブに在籍する子どもが交流できる効果をもっており、さらには地域住民や乳幼児親子の集いの場にもなるため、日常的な異世代交流が可能となっています。



利用者の声など

- ・ミストやテントがあるため、外にもかかわらずとても涼しく気持ち良く過ごすことが出来ていたようで、保護者からも「ゆったり過ごせた」「気持ちいい」との声を多くいただきました。
- ・普段関わることのない小学生と大人の方々が交流できたことで、お互いが楽しんで会話をされていました。
- ・ミストとテント、ベンチを設置するだけでそこが休憩の拠点となり、そこで過ごす人たちの表情はたいへん穏やかで、行事以外の日常の中でも子どもたちの憩いの居場所になっていました。

児童館のプロフィール

名 称：京都市梅津北児童館
 設置主体：京都市
 運営主体：公益社団法人 京都市児童館学童連盟
 開設年月：平成22年7月
 開設時間：月～金 10:00～18:30
 土曜日・長期休業中 8:30～18:30
 所在地：京都市右京区梅津開キ町18番地
 紹介等：<http://www.kyo-yancha.ne.jp/umekita/index.html>

